

### I 第39週の発生動向 (2015/9/21~9/27)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内を除くすべての保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が解除されました。
3. RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の41人から20人に減少しました。
4. ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の49人から14人に減少しました。

### II 第39週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科															
インフルエンザ															0	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13	10	1.11	7	0.70			1	0.17	1	0.25	20	0.48	-21
	咽頭結膜熱					1	0.10							1	0.02	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	2	0.22	15	1.50			2	0.33	1	0.25	22	0.52	-40
	感染性胃腸炎	16	2.00	5	0.56	5	0.50	5	1.00	1	0.17	8	2.00	40	0.95	-15
	水痘	4	0.50							2	0.33	1	0.25	7	0.17	0
	手足口病	31	3.88	23	2.56	48	4.80	10	2.00	23	3.83	32	8.00	167	3.98	-96
	伝染性紅斑			1	0.11					3	0.50	3	0.75	7	0.17	-4
	突発性発しん	4	0.50			3	0.30	1	0.20	7	1.17	1	0.25	16	0.38	2
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	3	0.38	1	0.11	6	0.60	1	0.20			3	0.75	14	0.33	-35
流行性耳下腺炎					1	0.10	1	0.20	1	0.17			3	0.07	-8	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎									1	0.50			1	0.09	-1
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎					2	2.00	1	1.00			4	4.00	7	1.17	2
	無菌性髄膜炎															0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0	

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市2人、八戸1人、むつ1人(2015年計:223人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 東地方+青森市1人(2015年計:45人)

### IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

## 感染症の窓

### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患)

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は主にA群溶血性レンサ球菌(*Streptococcus pyogenes*)を原因とし、急激に多臓器不全に進行する敗血症性ショック病態です。メディアなどで「人食いバクテリア」といった病名で、センセーショナルな取り上げ方をされることがあります。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は1987年に米国で最初に報告されました。日本では1992年に最初の典型的な症例が報告され、毎年100~200人の患者が確認されています。このうち約30%が死亡しており、きわめて致死率の高い感染症です。子どもから大人まで広範囲の年齢層に発症しますが、特に30歳以上の大人に多いのがひとつの特徴です。

初期症状は四肢の疼痛、腫脹、発熱、血圧低下などで、発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的です。発病後数十時間以内には軟部組織壊死、急性腎不全、成人型呼吸窮迫症候群、播種性血管内凝固症候群、多臓器不全を引き起こし、ショック状態から死に至ることも多くあります。

なお、平成27年の国内における劇症型溶血性レンサ球菌感染症報告数は、第38週時点で例年の年間報告数より多い319人です(図)。このうち青森県の報告数は、東地方+青森市保健所管内からの2人(第35週1人、第37週1人)です。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP



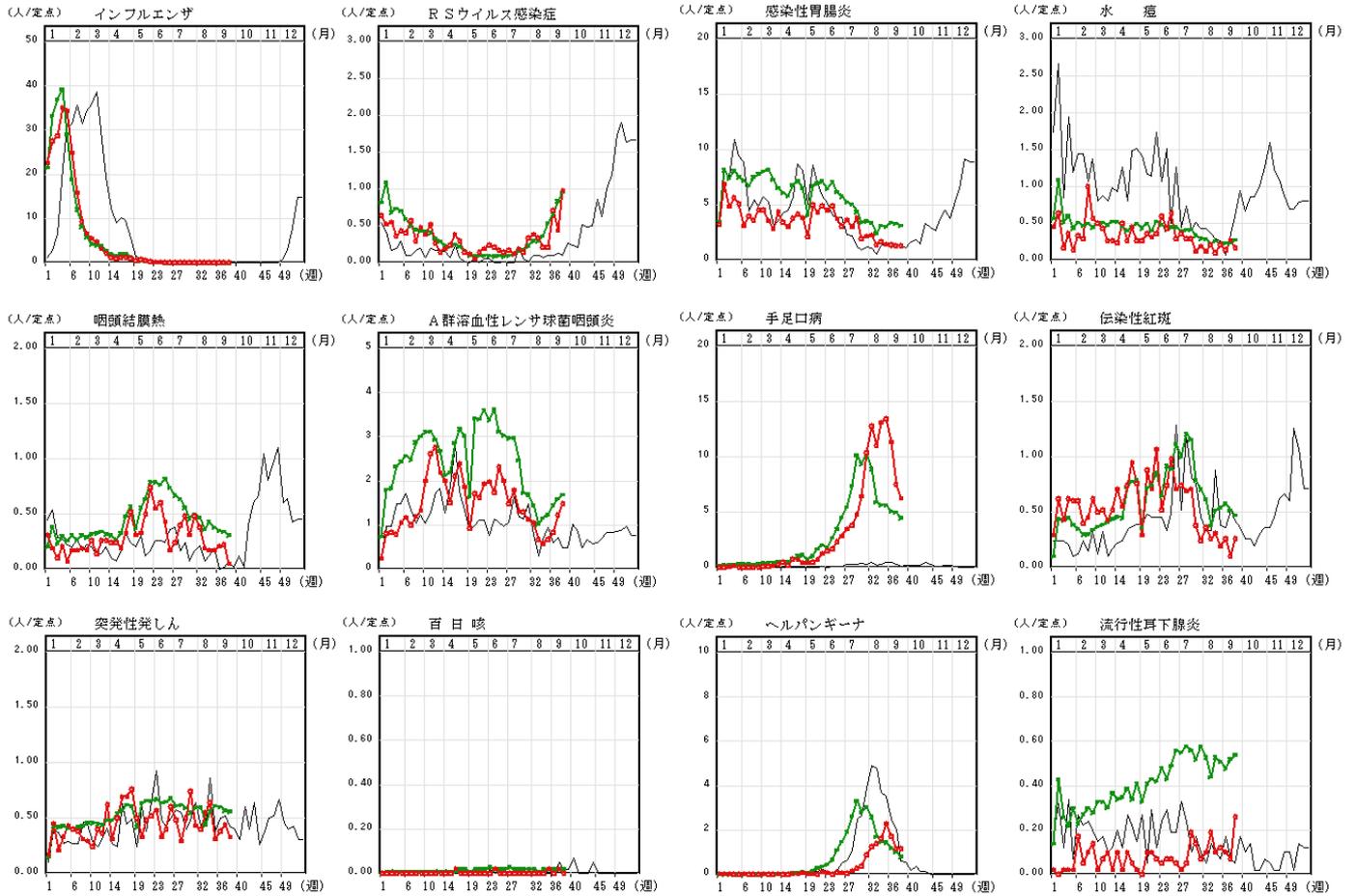
図: 全国における報告数の推移(2011年~2015年)

\* 2015年は第38週時点の報告数

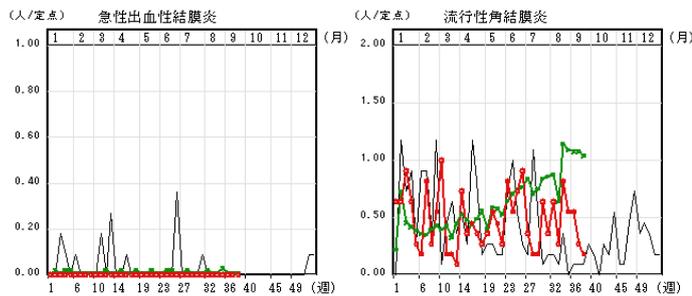


## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第38週)

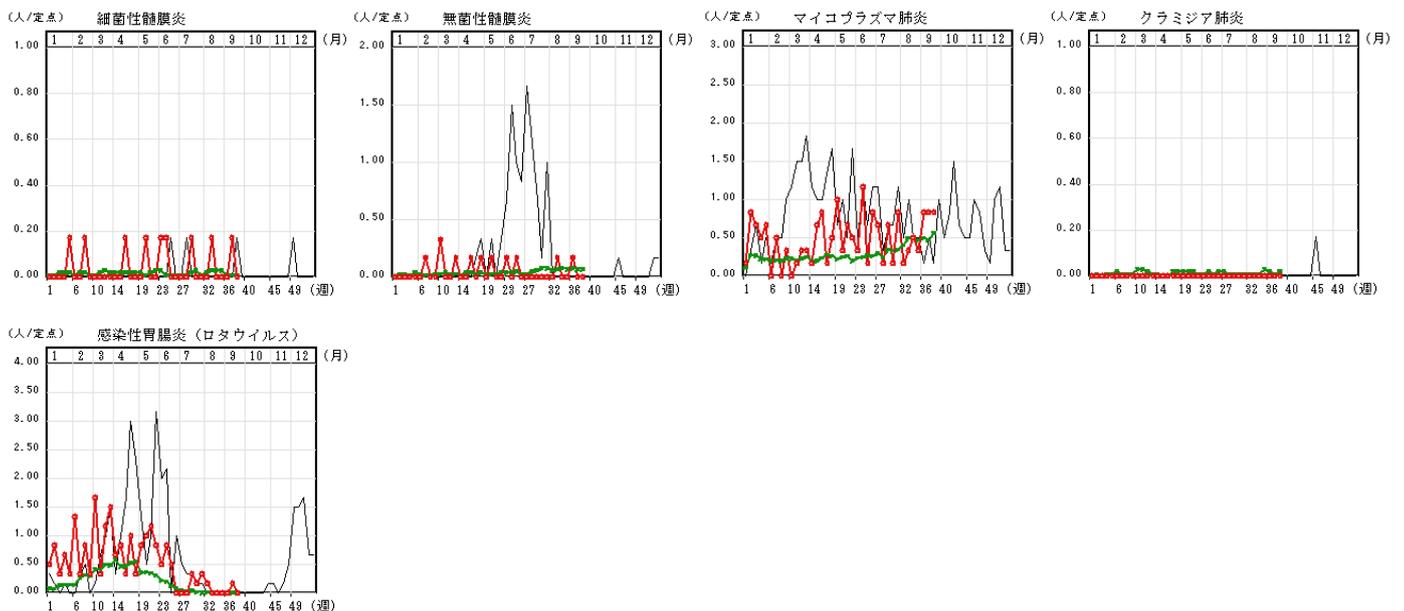
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第38週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第38週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第39週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-30週	31-35週	36週	37週	38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	28	0	0	0	0	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	1	0	0	0	0	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	28	0	0	0	0	0	428